

大倉ダムの魅力発信事業「鯉のぼり×大倉ダム」

宮城西市民センター

概要

地域の宝である大倉ダムの魅力を広く発信し、地域の交流人口を増やそうと平成30年度に市民企画会議「大倉ダムの魅力発信」が発足しました。会議でダムの堤体に鯉のぼりを吊るすという案が動き出し、地域の小中学生が描いた鯉のぼりと、イベントの趣旨に賛同して寄贈された鯉のぼり、合わせて36本を五月晴れの空に泳がせることができました。

地元企業の協力

計画を具体化していく中で大きな壁となったのが、高さ80m、幅125mもあるダムの堤体へ、総重量40kgもあるロープをどうやって安全に渡すかということ。そして、そのロープを何処に固定するかということでした。そこに力を貸してくれたのが地元の建設会社でした。ロープを固定する巨大なコンクリートブロックを製作し、さらに、高所作業に慣れたプロの人員を派遣して、ダムの堤体にロープを渡してくれたのです。ほかに地元の多くの企業から協賛・協力を頂いて開会の日を迎えました。

イベント実施

令和元年5月2日。澄み渡った青空の下、多数のご来賓の参列を得て、西部広陵太鼓の演奏で開会式が始まりました。振り返ってみると、この構想が持ち上がってから3年近い月日が流れていました。5月6日までの開催期間中に、会場となった大倉ダム下公園を訪れた人は、延べ2751人。その多くが初めての方々で、皆口々に「素晴らしいロケーションだ」「是非これからも続けて欲しい」などと嬉しい感想を述べて行かれました。

成果

今回のイベントの成果は、多くの方々に来場して頂いた事は勿論ですが、普段あまり見向きもされなかった大倉ダム下公園にスポットが当てられ、景勝地、或いは憩いの場としての潜在能力に、地域の人たちが気付いた事、これこそが最も大きな成果だったと思います。

図 宮城西市民センター

☎ 3933-2829

実施のようす



▲ダム下公園には多くの人！



▲設置が完了した鯉のぼり



▲安全を確保した堤体上での作業



▲放水の間近で観覧する人たち



▲公園のポールにも鯉のぼりを設置



▲コンクリートブロックへの固定